

本資料は、米国アッヴィ社が 2018 年 4 月 26 日(米国時間)に発表したプレスリリースの日本語抄訳版です。資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先します。本資料の詳細(英文)については、[https://news.abbvie.com/news/press-releases/abbvie-reports-first-quarter-2018-financial-results.htm?view\\_id=82](https://news.abbvie.com/news/press-releases/abbvie-reports-first-quarter-2018-financial-results.htm?view_id=82) をご覧ください。

## PRESS RELEASE

2018 年 5 月 14 日

### アッヴィ、2018 年度第 1 四半期の業績を発表

- 第 1 四半期の希薄化 EPS は GAAP ベースで 1.74ドル、調整後希薄化 EPS は前年同期比 46.1%成長の 1.87ドル
- 第 1 四半期の売上高は 79 億 3,400 万ドル、営業ベースで前年同期比 17.6%増
- 第 1 四半期のヒュミラ®の全世界での売上高は 47 億 900 万ドル、報告ベースで 14.4%増、営業ベースで 10.7%増
- 第 1 四半期のイムブルピカ®\*の全世界での売上高は 38.5%増の 7 億 6,200 万ドル
- 第 1 四半期の HCV 治療薬の全世界での売上高は 9 億 1,900 万ドル
- 2018 年度の GAAP ベースの希薄化 EPS の見通しを 6.82~6.92ドルへ修正。2018 年度の調整後希薄化 EPS の見通しを 7.33~7.43ドルから中間値で前年比 38%の成長となる 7.66~7.76ドルへ修正
- 普通株 75 億ドルを上限とする自社株買いを開始する意向があることを発表

\*日本ではヤンセンファーマ株式会社が販売

米国イリノイ州ノースシカゴ(2018 年 4 月 26 日)ーアッヴィ(NYSE:ABBV)は、2018 年度第 1 四半期(2018 年 3 月 31 日終了)の業績を発表しました。

会長兼 CEO のリチャード・A・ゴンザレスは、次のように述べています。「アッヴィにとって 2018 年のスタートは素晴らしいものとなりました。第 1 四半期の売上高および EPS の成長は予想を大きく上回っています。会社発足以降、多様な力強い成長を牽引する事業を生み出すべく努力してきました。今四半期においては、ヒュミラ®、イムブルピカ®およびマヴィレット®などの多様な領域にわたる製剤が、顕著な貢献を示す結果となりました。力強いビジネスパフォーマンスに基づき、業界トップの前年同期比 38%の成長を反映した中間値で、通年の EPS の見通しを引き上げています」

## 第 1 四半期の業績

- 第 1 四半期の全世界での売上高は、GAAP ベースで前年同期比 21.4%増の 79 億 3,400 万ドルでした。営業ベースでは、為替レート変動による 3.8%のプラスの影響を除くと、17.6%増でした。
- ヒュミラ<sup>®</sup>の全世界での売上高は、報告ベースで 14.4%増、為替レート変動による 3.7%のプラスの影響を除くと、営業ベースで 10.7%増となりました。第 1 四半期の米国内でのヒュミラ<sup>®</sup>の売上高は 11.4%増でした。米国外でのヒュミラ<sup>®</sup>の売上高は、為替レート変動による 10.7%のプラスの影響を除くと、9.3%増でした。
- 第 1 四半期のイムブルピカ<sup>®</sup>の全世界での売上高は、38.5%増の成長となる 7 億 6,200 万ドルで、そのうち米国内の売上高は 6 億 2,400 万ドル、米国外利益分配が 1 億 3,800 万ドルでした。
- 第 1 四半期の HCV 治療薬の全世界での売上高は、9 億 1,900 万ドルでした。
- 第 1 四半期の売上総利益率は GAAP ベースで 75.7%でした。調整後売上総利益率は 80.2%でした。
- 売上高に占める販売費および一般管理費の割合は、GAAP ベースで 22.6%でした。調整後の売上高に占める販売費および一般管理費の割合は 21.0%でした。
- 売上高に占める研究開発費の割合は、GAAP ベースで 15.7%でした。調整後の研究開発費の割合は、パイプラインへの投資を反映し、15.0%となりました。
- 第 1 四半期における GAAP ベースの営業利益率は 36.6%でした。調整後営業利益率は 44.1%でした。
- GAAP ベースの純支払利息は 2 億 5,100 万ドルでした。第 1 四半期における GAAP ベースの税率は 0.5%、調整後の税率は 7.6%でした。
- 第 1 四半期における希薄化 EPS は、GAAP ベースで 1.74ドルでした。調整後希薄化 EPS は、特定項目を除き、46.1%増の 1.87ドルでした。

## アッヴィについて

アッヴィは、世界で最も複雑かつ深刻な疾患に対する革新的な先進治療薬の開発に努める研究開発型のグローバルなバイオ医薬品企業です。その専門知識、献身的な社員、イノベーション実現に向けた独自の手法を通じて、自己免疫疾患、がん、C 型慢性肝炎などのウイルス感染症およびニューロサイエンスの 4 つの主要治療領域での治療を大きく向上させることをミッションに掲げています。世界中の人々が持つ健康上の課題への解決策を進歩させるため、75 カ国以上の国でアッヴィ社員が日々取り組んでいます。アッヴィの詳細については、[www.abbvie.com](http://www.abbvie.com) をご覧ください。よろしければ Twitter アカウント [@abbvie](https://twitter.com/abbvie) もフォローください。また、人財情報は [Facebook](https://www.facebook.com/abbvie) や [LinkedIn](https://www.linkedin.com/company/abbvie) ページもご参照ください。

日本においては、アッヴィ合同会社の約 1,050 人の社員が、医療用医薬品の開発や販売に従事しています。自己免疫疾患、新生児、肝疾患、ニューロサイエンスの各領域を中心に、患者さんの生活に大きく貢献できることを願っています。詳しくは、[www.abbvie.co.jp](http://www.abbvie.co.jp) をご覧ください。

### **アッヴィ 今後の見通しに関する陳述**

本リリースにおける記載には、1995年米国私募証券訴訟改革法に示される「今後の見通しに関する陳述」が含まれています。「確信」「期待」「予測」「計画」という言葉およびそれに類する表現は、一般に将来予想に関する陳述となります。当社からの注意喚起として、このような将来予想に関する陳述はリスクおよび不確実性による影響を受け、実際の結果と将来予想に関する陳述での予測との間に大幅な相違が生じる可能性があります。このようなリスクおよび不確実性には、知的財産に対する脅威、他社製品との競合、研究および開発プロセスに特有の困難、敵対的訴訟または政府による介入、業界に関連する法律および規制の変更などがあります。

アッヴィの経営に影響を及ぼす可能性のある経済、競合状況、政府、科学技術およびその他の要因については、SECに提出済みのアッヴィの2017年度アニュアルレポート(10-K書式)の1A項「リスク要因」に記載しています。アッヴィは、法律で要求される場合を除き、本リリースの発表後に発生した出来事または変化によって、今後の見通しに関する陳述を更新する義務を負わないものとします。